

新聞廣告大賞

Go ! Beppu おおいたへ行こう！キャンペーン

おんせん県観光誘致協議会



おいたへ行こう！キャンペーン

**行くこと、それが
応援になる。**

大分は、日本一のおんせん県。

4月14日・16日、大分のたくさんの温泉地が、
大きな震災に見舞われました。

でも、おんせん県は元気です。

だからこそ、大分のたくさんの温泉地に足を運んでほしい。

まずは別府から、おんせん県の元気を発信します。

元気な別府が、おんせん県の元気をつくる。

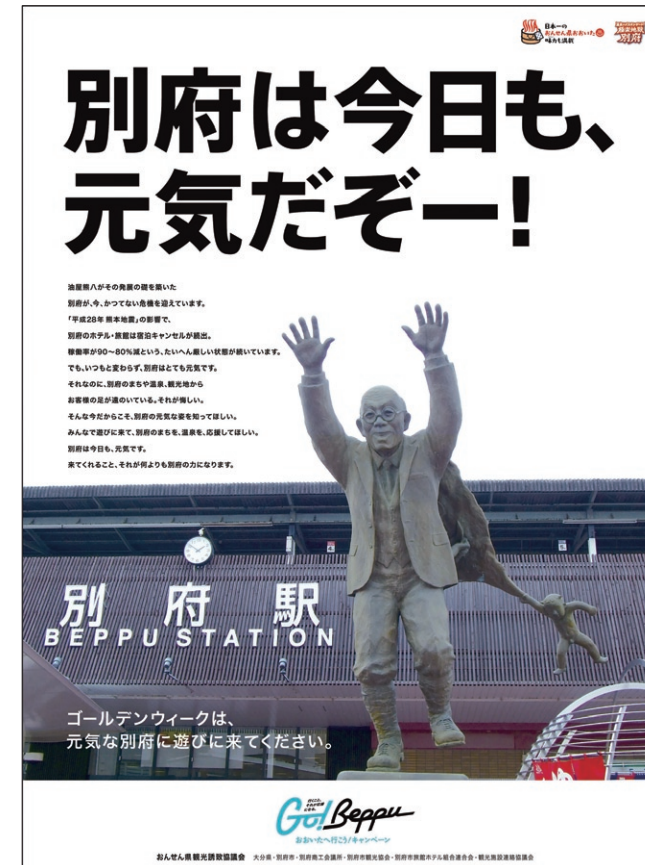
「GO! BEPPU おおいたへ行こう! キャンペーン」はじまります。



おんせん県観光誘致協議会 大分県、別府市、別府商工会議所、別府市観光協会、別府市旅館ホテル組合連合会、観光施設連絡協議会



2016年5月1日



5月2日



5月4日



5月5日

- 掲載状況——2016年5月1日、2日、4日、大分合同に掲載／全15段、カラー
- 広告活動——ポスター、テレビ番組、フェイスブックと連動
- 企画——おんせん県観光誘致協議会、西広大分支社、大分合同新聞社
- 制作——西広大分支社、デザイン・マップ、緒方一成事務所
- 扱い——西広大分支社
- 制作スタッフ——Pro＝杵築宏治・原崇紀、CD・C＝緒方徹、A D・D＝長門敦・緒方一成、Ph＝タケウチトモユキ

- ### ●企画の概要と選定理由
- 2016年4月、熊本・大分両県を襲った地震は、温泉地・別府に風評被害をもたらし、観光客の減少と経済的な打撃を与えた。新聞広告で観光客の来訪を呼びかけたこのキャンペーンは、風評被害へのすばやい対応として注目され、深刻なテーマでありながらも遊び心あふれたコピーが読者を引きつけた。多くのメディアがこのキャンペーンを取り上げ、インターネット上でも話題となった結果、被災地支援の機運が全国的に盛り上がり集客にも貢献した。新聞の機動性や社会的機能を生かした展開が、新聞広告の価値を高めた作品として高く評価された。